

資料 編

- 実施要領 ● 160
- 調査票 ● 165
 - 小学校(児童質問紙調査票・
学校質問紙調査票・記録シート) ● 165
 - 中学校(生徒質問紙調査票・
学校質問紙調査票・記録シート) ● 170
 - 教育委員会 ● 175
- 項目別得点表・総合評価基準表 ● 176
- 調査協力者名簿 ● 178

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 實施要領

令和6年4月3日
スポーツ庁次長

1. 調査の目的

本調査は、国が全国的な子供の体力・運動能力や運動習慣・生活習慣等を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力や運動習慣等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的とする。
加えて、教育委員会や学校においても、本調査結果を活用し、子供の体力や運動習慣等の状況を把握するとともに、課題に対応した施策の実施や体育・保健体育の授業等の充実・改善に役立てるこことを目的とする。

2. 調査の名称

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

3. 調査の対象及び調査内容

(1) 児童

① 調査対象者
小学校、義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部の5年生全員
ただし、特別支援学校及び小学校の特別支援学級に在籍している児童については、そ
の障害の状態等を考慮して、参加の是非を適切に判断すること。

(2) 調査内容（児童調査票）

ア 実技に関する調査（測定方法等について、新体カテストと同様）
 〈テスト項目〉
 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20m シャトルラン、50m 走、
 立ち幅とび、ソフトボール投げ
 イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等に関するもの）

(2) 生徒

① 調査対象者

中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程及び特別支援学校中学部の2
年生全員
ただし、特別支援学校及び中学校の特別支援学級に在籍している生徒については、そ
の障害の状態等を考慮して、参加の是非を適切に判断すること。

② 調査内容（生徒調査票）

ア 実技に関する調査（測定方法等について、新体カテストと同様）
 〈テスト項目〉
 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走（男子1500m、女子1000m）
 又は20m シャトルラン、50m 走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等に関するもの）

※オンライン方式（文部科学省 CBT システム：「MEXCBT」を使用）による実施。

※上記オンライン方式による実施。

- (3) 学校
- ① 調査対象校
小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校及び小学部もしくは中学部を置く特別支援学校の全校
 - ② 調査内容
質問紙調査（子供の体力向上や運動習慣の確立に向けた学校の取組等に関するもの）

※オンライン方式（文部科学省 WEB 調査システム：「EduSurvey」を使用）による実施。
※上記オンライン方式による実施。

(4) 教育委員会

- ① 調査対象
全教育委員会
- ② 調査内容
質問紙調査（子供の体力向上や運動習慣の確立に向けた学校の取組等に関するもの）

※オンライン方式（文部科学省 WEB 調査システム：「EduSurvey」を使用）による実施。
※上記オンライン方式による実施。

4. 調査実施期間

令和6年4月～7月

※詳細のスケジュールについては参考1を参照

5. 調査の実施体制

調査の実施体制は以下のとおりとする（調査の実施系統図は参考2・3を参照）。

- (1) 調査は、スポーツ庁が、学校の設置管理者である都道府県教育委員会、市区町村教育委員会、学校法人、国立大学法人、公立大学法人等の協力を得て実施する。
- (2) 都道府県教育委員会は、域内の市区町村教育委員会（指定都市教育委員会を除く。）に
対して指導・助言・連絡等をするなど調査に協力する。また、自らが設置管理する学校に
対して調査を実施する。
- (3) 都道府県知事は、私立学校の所轄庁として調査に協力する。
- (4) 市区町村教育委員会、学校法人、国立大学法人、公立大学法人等は、学校の設置管理者
として調査に協力し、自らが設置管理する学校に対して調査を実施する。
- (5) 学校は、校長を調査責任者として、設置管理者である市区町村教育委員会等の指示・指
導・助言等に基づき調査を実施する。

6. 調査結果の取扱い

スポーツ庁は、以下のとおり、調査結果を示し、公表するとともに、各教育委員会、各都道府県私立学校所轄庁、各附属学校を置く国立大学法人、各附属学校を置く公立大学法人及び各学校に対して、調査結果等を提供する。

また、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第21条第17号の規定により、調査の実施、調査結果の活用及び公表等を含め、調査は教育委員会の職務権限である。そのため、教育委員会は、調査結果の活用及び公表等の取扱いについて、主体性と責任を持つて当たることとする。

6. 調査結果の取扱い

公立学校全体の状況及び市町村が設置管理する各学校全体の状況、域内の各市町村教育委員会全体の状況に関する調査結果
 イ 市町村教育委員会に対しては、当該市町村における公立学校全体の状況及びその設置管理する各学校の状況に関する調査結果
 ウ 学校に対しては、当該学校全体の状況及び各児童生徒に関する調査結果及び個人票
 エ その他、調査の目的達成に資する調査結果
 エ 各学校は、各児童生徒に対し、個人票を提供する。

(1) 調査結果の示し方

- ① スポーツ庁は、本調査の結果として、以下の事項等を示す。
- ② 実技に関する調査の結果として、
 ア 各種目等の平均値、標準偏差、平均値の分布等がわかる図等
 イ 総合評価の段階別割合
- ③ 児童生徒質問紙調査、学校質問紙調査及び教育委員会質問紙調査の結果として、
 ア 児童生徒質問紙調査、学校質問紙調査及び教育委員会質問紙調査の回答状況
 イ 児童生徒質問紙調査の回答状況と実技に関する調査の平均値等との相関関係の分析
 ウ 学校質問紙調査の回答状況と実技に関する調査の平均値等との相関関係の分析
 エ 児童生徒質問紙調査の回答状況と教育委員会質問紙調査及び教育委員会質問紙調査の回答状況との相関関係の分析
- ④ その他、調査の目的の達成に資する分析
- (2) 調査結果のスポーツ庁による公表
- スポーツ庁は、調査の目的を踏まえ、以下の事項等について調査結果を公表する。スポーツ庁が公表する調査結果については、公表後速やかに、スポーツ庁ホームページに掲載する。

- ① 以下のアからオまでの区分に応じ、上記(1)①のア及びイで示した結果
 ア 国全体（国・公・私立学校全体の状況又は国・公・私立学校別の状況）
 イ 都道府県ごと（都道府県教育委員会及び市町村教育委員会が設置する学校全体の状況）

- ウ 都道府県（指定都市を除く）ごと（都道府県教育委員会及び市町村教育委員会が設置する学校全体の状況）
 エ 指定都市ごと（指定都市教育委員会が設置管理する学校全体の状況）
 オ 地域の規模等に応じたまとまりごと（「大都市」（政令指定都市及び東京23区）、「中核市」、「その他の市」及び「町村」並びに「へき地」の五つの区分における公立学校全体の状況）
- ② その他、調査の目的の達成に資する分析
- (3) 調査結果等の提供
- 各教育委員会、学校及び児童生徒に対する調査結果等の提供は、以下のとおりとする。
- ① スポーツ庁は、調査の目的の達成に資するため、各教育委員会、学校に対して、以下の調査結果を提供する。
 ア 都道府県教育委員会に対しては、当該都道府県教育委員会が設置する各学校の状況、当該都道府県教育委員会における公立学校全体の状況、当該都道府県教育委員会（指定都市を除く）における公立学校全体の状況、域内の各市町村教育委員会における

(4) 調査結果の活用

- ① 各教育委員会、学校等及びスポーツ庁においては、調査の目的を達成するため、以下のような調査結果を活用した取組に努めることとする。
- ア 各教育委員会、学校等においては、多面的な分析を行い、子供の体力・運動能力等の向上に係る施策の成果と課題を把握・検証し、保護者や地域住民の理解と協力のもとに適切に連携を取りながら、施策の改善に取り組むこと。
- イ 各学校においては、調査結果を踏まえ、各児童生徒の全般的な運動習慣の改善等に努めるとともに、自らの体育的活動における指導等の改善に向け取り組むこと。
- ウ 各教育委員会においては、調査結果を踏まえ、それぞれの役割と責任に応じて、学校における取組等に対して必要な支援等を行うなど、域内の子供の体力・運動能力等の向上に係る施策の改善に向けた取組を進める。
- エ スポーツ庁は、児童生徒の体力・運動能力や運動習慣等をきめ細かく把握・分析することにより、子供の体力・運動能力等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善に取り組むこととする。また、各教育委員会、学校等における取組に対して必要な支援等を行うなど、子供の体力・運動能力等の向上に係る施策の改善に向けた全国的な取組を進めることとする。
- ② スポーツ庁においては、調査結果についてより一層多面的な分析や研究が行われるよう、実施要領及び別に定めるガイドラインに基づき、個票データを大学等の研究機関の研究者又は国の行政機関等の職員に提供し、学術研究の振興、施策の推進のために活用することができる。
- (5) 調査結果の取扱いに関する配慮事項
- 調査結果については、調査の目的を達成するため、子供の体力・運動能力等の向上に係る施策の改善、各児童生徒の全般的な運動習慣の改善等につなげることが重要であることに留意し、適切に取り扱うものとする。
- 調査結果の公表に関しては、教育委員会や学校が、保護者や地域住民に対して説明責任を果たすこと方が重要である一方、調査により測定できるのは体力・運動能力の一部分であること、学校における教育活動の一侧面であることを踏まえるとともに、序列化や過度な競争が生じないようにするなど教育上の効果や影響等に十分配慮することが重要である。

- このことを踏まえ、具体的な公表の手続等は、以下のとおりとする。
- ① 教育委員会及び学校による調査結果の公表
 ア 都道府県教育委員会においては、調査の実施主体が国であることや、市区町村が基本的な参加主体であることなどに鑑みて、以下のとおり取り扱うこと。
 エ 自らが設置管理する学校の状況においては、それぞれの判断において、エに基づき公表することは可能であること。

- (イ) 域内の市区町村の状況及び市区町村教育委員会が設置管理する学校の状況については、市区町村教育委員会の同意を得た場合に限り、エに基づき、当該市区町村名又は当該市区町村教育委員会が設置管理する学校名を明らかにした公表（市区町村名又は学校名を特定することが可能な方法による公表を含む。以下同じ。）を行うことは可能であること。
- (ウ) 個々の市区町村名・学校名が明らかとならない方法（例えば、教育事務所単位の状況の公表等）で、エに基づき公表することは、都道府県教育委員会の判断において可能であること。
- (エ) (ア)又は(イ)に基づき個々の市区町村名・学校名を明らかにした公表を行うことについては、その教育上の影響等を踏まえ、必要性について慎重に判断すること。
- (エ) 自らが設置管理する学校に自校の結果を公表するよう指示する場合も、自らが個々の学校名を明らかにした公表を行う場合に準じて取り扱うこと。
- (イ) 市区町村教育委員会においては、以下のとおり取り扱うこと。
- (ア) 当該市区町村における公立学校全体の結果について、それぞれの判断において、エに基づき公表することは可能であること。
- (イ) 自らが設置管理する学校の状況について、それぞれの判断において、エに基づき公表することは可能であること。この場合、個々の学校名を明らかにした公表を行うことについては、その教育上の影響等を踏まえ、必要性について慎重に判断すること。
- (エ) 自らが設置管理する学校に自校の結果を公表するよう指示する場合も、自らが個々の学校名を明らかにした公表を行う場合に準じて取り扱うこと。
- (エ) 調査結果の公表に当たっては、以下の(ア)から(イ)までにより行うこと。
- (ア) 公表する内容や方法等について、は、教育上の効果や影響等を考慮して適切なものとなるよう判断すること。
- (イ) 調査結果の公表を行う教育委員会又は学校においては、単に体力合計点などの数値のみの公表は行わないこと。
- (ウ) アの(ア)又はイの(イ)において市区町村教育委員会が個々の学校名を明らかにした公表を行う場合は、当該学校と公表する内容や方法等について事前に十分相談すること。また、教育委員会において自らが設置管理する学校に自校の結果を公表するよう指示する場合は、教育委員会は自らが実施する改善方策を速やかに示すとともに、公表する内容等について学校に指示する場合は、教育委員会は当該学校とそれについて事前に十分相談すること。
- (エ) 学校や地域の実情に応じて、個別の学校や地域の結果を公表しないなど、必要な配慮を行うこと。

- オ 教育委員会が独自に実施する体力調査の公表の取扱いについては、もとよりそれがの教育委員会の判断に委ねられること。
- (ア) スポーツ庁が公表する内容以外の調査結果の取扱い、
- ア スポーツ庁は、調査結果のうち、公表する内容を除くものについては、これが一般に公開されることになると、序列化や過度な競争が生じるおそれや学校の設置管理者等の実施への協力及び国民的な理解が得られなくなるなど正確な情報が得られない可能性が高くなり、全国的な状況を把握できなくなるなど調査の適正な遂行に支障を及ぼすおそれがあると考えられたため、行政機関の保有する情報の公開に関する法律（平成11年法律第42号）第5条第6号の規定を根拠として、同法における不開示情報として取り扱うこととする。
- イ 教育委員会等は、スポーツ庁から提供を受けた調査結果のうち公表する内容を除くものについて、上記アを参考に、それぞれの地方公共団体が定める情報公開条例に基づく同様の規定を根拠として、情報の開示により調査の適正な遂行に支障を及ぼすことのないよう、本実施要領の趣旨、特に6. (5)①エを十分踏まえ、適切に対応すること。

7. 調査実施に当たっての相談体制

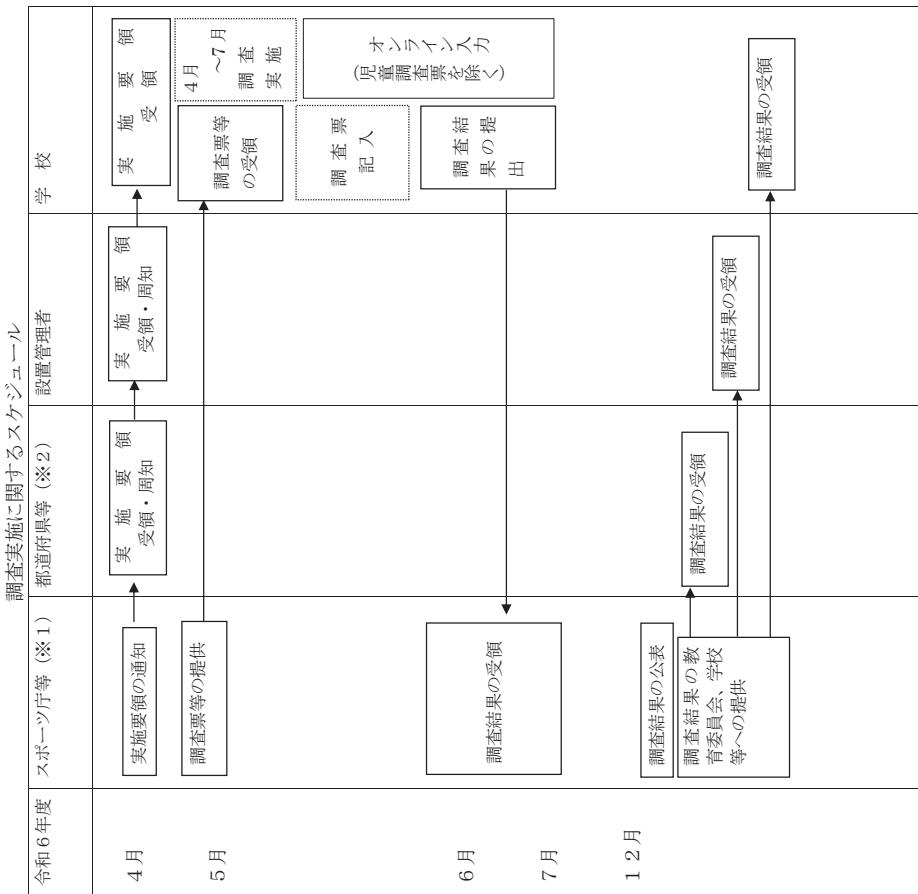
- (1) 学校の設置管理者である市区町村教育委員会等においては、所管の学校からの相談に応するなど適切な指導・助言を行う。
- (2) 調査実施に当たっての市区町村教育委員会、学校等からの問合せや調査票の配送・回収状況の把握・確認等に対応するため、スポーツ庁は民間機関等への業務委託を行い、コールセンターを設置する。

8. 留意事項

- (1) 各教育委員会、学校等における調査の実施及び調査結果の活用等調査を実施するとともに、調査結果等を活用するに当たり、以下の体制を整備することとする。
- ① 各教育委員会等においては、調査責任者及び担当者を指名するとともに、所管の学校からの相談に応するなど、適切に実施体制を整備すること。
- ② 各学校においては、調査責任者及び担当者を指名し適切に実施体制を整備すること。
- ③ 教育委員会、学校等においては、調査の実施に当たって、調査の目的や内容、調査結果の取扱い等を児童生徒、保護者等の関係者に周知すること。
- ④ 各教育委員会、学校等において、調査問題等の調査に關して知り得た秘密については、その保持を徹底すること。
- ⑤ 各教育委員会、学校等においては、提供された調査結果等について、本実施要領に基づいて適切に利用するとともに、管理を徹底するために、必要な措置を講ずること。
- ⑥ 各教育委員会、学校等は、調査の目的の達成に資するよう、調査結果等の活用を図るため、調査結果等の提供を受ける機関等において、本実施要領の趣旨が遵守されることが確認できた場合に限り、関係機関等に対して調査結果等を提供することは可能であること。

(7) 各教育委員会、学校等においては、調査結果の分析やこれを活用して子供の体力・運動能力や運動習慣等向上に係る施策の改善等に向けた取組等を進めるための体制を整備すること。

(参考1)



- (2) 個人情報の保護
- ① スポーツ庁及びスポーツ庁が業務委託を行った民間機関等は、調査に使用する調査用紙等について、児童生徒の氏名を取得しない形式を用いることとする。
 - ② 各教育委員会、学校等においては、調査に関する個人情報について、それが遵守すべき個人情報保護関係法令及び地方公共団体の定める条例に基づき、適切に取り扱うこと。
- (3) 教育課程上の位置付け
- 実技調査及び児童生徒質問紙調査については、教育委員会及び学校の判断により、特別活動での取り扱いのほか、体育科、保健体育科の授業時数の一部として学習指導要領に示された内容に加えて取り扱うことが可能であること。

(4) 実技調査実施上的一般的注意

- ① 実技調査の実施に当たっては、児童生徒の健康状態を十分把握し、事故防止に万全の注意を払うこと。特に、医師から運動を禁止又は制限されている児童生徒はもちろん、当日の身体の異常（倦怠感、倦怠感）を訴える児童生徒は、当日は調査を行わず、各学校の状況に応じて代替日を設けるなど適切な措置を行うこと。調査中ににおいても異常を自覚した場合、すみやかに中止するよう事前に指示等を出しておくこと。また、感染症対策や体育の授業における留意事項を踏まえ、実施すること。
- ② 熱中症による事故を防ぐため、実技調査を実施する際は、「熱中症を予防しよう—一知つて防ごう熱中症—（独立法人日本スポーツ振興センター）」等を参考とすること。また、実施する際には十分に水分等を補給できるようにすることや、日除けを設けること、換気を十分に行うことなど適切な措置を行うこと。
- ③ 実技調査は、調整済みの器具の使用や測定方法など、実施マニュアルに従い定められた方法の通り正確に行うこと。
- ④ 実技調査前後には、適切な準備運動及び整理運動を行うこと。

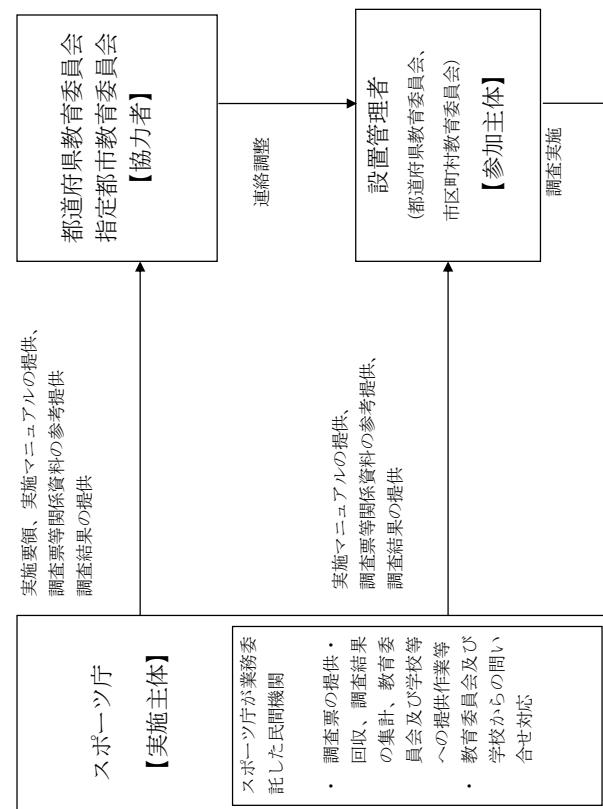
※1 スポーツ庁等には、スポーツ庁が業務委託した民間機関を含む。

※2 都道府県等とは、公立学校の場合は都道府県教育委員会及び指定都市教育委員会、私立学校の場合は都道府県知事部局をいう。

(参考2)

調査の実施系統図【公立学校】

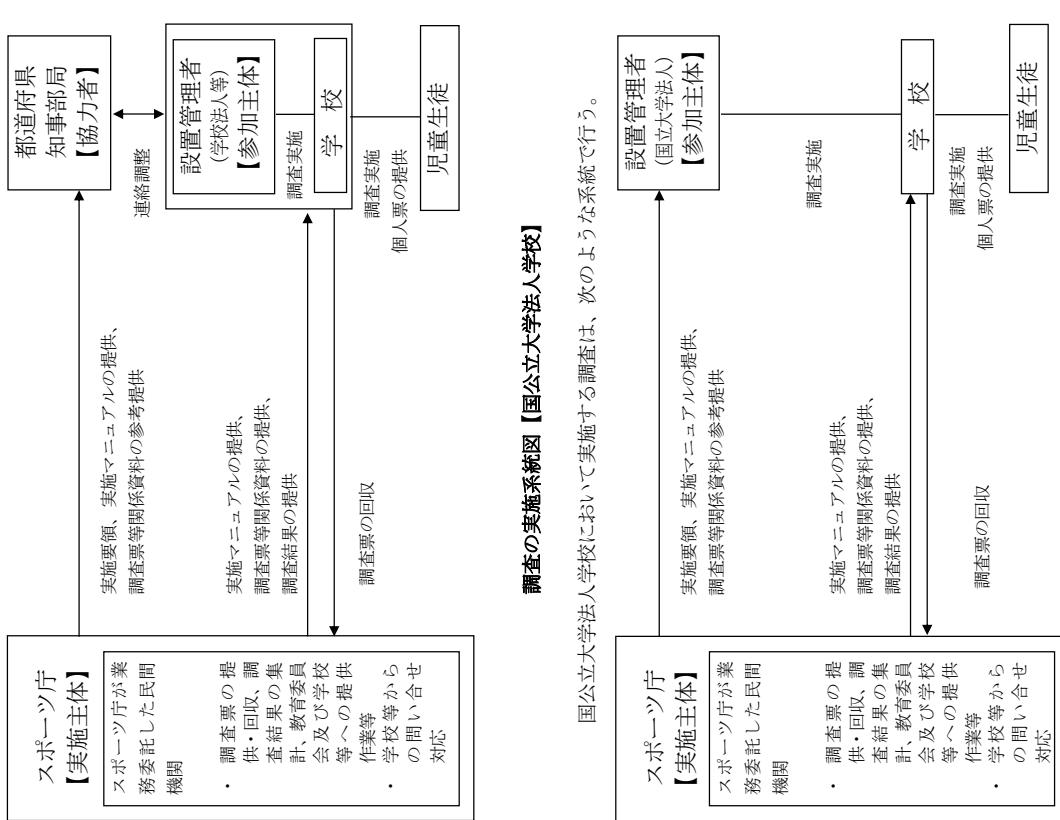
公立学校において実施する調査は、次のような系統で行う。



(参考3)

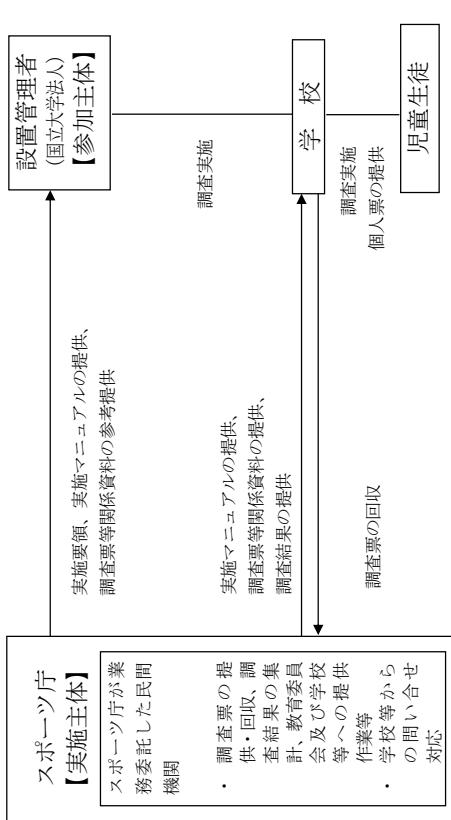
調査の実施系統図【私立学校】

私立学校において実施する調査は、次のような系統で行う。



私立学校において実施する調査は、次のような系統で行う。

国公立大学法人学校において実施する調査は、次のような系統で行う。



全国児童調査票(第5学年) 令和6年度 全国体力・運動能力・運動習慣等調査

全国児童調査票(第5学年) 令和6年度 全国体力・運動能力・運動習慣等調査

体育と保健の授業について聞きます。

学校名	性別	① 男	② 女	No.	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
-----	----	-----	-----	-----	----------------------	----------------------	----------------------

※特に注意がない場合は、回答は当てはまる番号を1つぬってください。
（質問は裏まで18問あります。）

- | 回 | 問題 | | 解説 |
|-------|------------------------|---|----|
| | 問題 | 解説 | |
| ④ 週4回 | 【4-2】(問題4でついていると回答した人) | 出題のスゴイ! マジックラボの「ソーラー回路」や「電球の明かりを点滅させる回路」などの主な回路や、回路図を用いて、回路の構成要素について学ぶ。 | 問題 |
| ③ 週3回 | 【4-3】 | 回路図を用いて、回路の構成要素について学ぶ。 | 解説 |
| ② 週2回 | 【4-4】 | 回路図を用いて、回路の構成要素について学ぶ。 | 問題 |
| ① 週1回 | 【4-5】 | 回路図を用いて、回路の構成要素について学ぶ。 | 解説 |

アーティストの名前を記入する欄

***連続的アーティストとしての「アーティスト」の位置づけ。

卷之三

- 毎日どのくらい寝ていますか。

① 10時間以上
② 9時間以上10時間未満
③ 8時間以上9時間未満
④ 7時間以上8時間未満
⑤ 6時間以上7時間未満
⑥ 5時間未満
⑦ 4時間未満
⑧ 3時間未満
⑨ 2時間未満
⑩ 1時間未満

• **CHARTERED MEMBER** • A member of the Association of Chartered Certified Accountants.

- | | | |
|---|---|---|
| 8 | 平日(月~金曜日)についてお聞きします。学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン(パソコンなど)の画面を見ていますか。 | <input type="radio"/> まる見えない
<input type="radio"/> まどろみなく見ている
<input checked="" type="radio"/> 2時間以上見ている
<input type="radio"/> 3時間以上見ている
<input type="radio"/> 4時間以上見ている
<input type="radio"/> 5時間以上見ている
<input type="radio"/> 6時間以上見ている
<input type="radio"/> 7時間以上見ている
<input type="radio"/> 8時間以上見ている
<input type="radio"/> 9時間以上見ている
<input type="radio"/> 10時間以上見ている
<input type="radio"/> 11時間以上見ている
<input type="radio"/> 12時間以上見ている
<input type="radio"/> 13時間以上見ている
<input type="radio"/> 14時間以上見ている
<input type="radio"/> 15時間以上見ている
<input type="radio"/> 16時間以上見ている
<input type="radio"/> 17時間以上見ている
<input type="radio"/> 18時間以上見ている
<input type="radio"/> 19時間以上見ている
<input type="radio"/> 20時間以上見ている
<input type="radio"/> 21時間以上見ている
<input type="radio"/> 22時間以上見ている
<input type="radio"/> 23時間以上見ている
<input type="radio"/> 24時間見ている |
| | | ※日々の画面を見る時間が長い場合はふるまいに記入すること。 |

10

100

300

【お問い合わせ】
体育と保健の授業について聞きます。

この問題の回答は、誰が回答したかわからない。行以研究室は、この問題を研究する者が研究へ復讐をするために沿用する言葉かもしれません。

質問紙	
全国 小学校 学校質問紙調査票	
学校概要 (校種・児童数・学級数)	
校種	①小学校 ②特別支援学校
全校の児童数	①【小学校】男子()名 女子()名 「うち特別支援学級男子()名 女子()名」 ②【特別支援学校】男子()名 女子()名
第5学年の児童数	①【小学校】男子()名 女子()名 「うち特別支援学級男子()名 女子()名」 ②【特別支援学校】男子()名 女子()名
第5学年の学級数	①【小学校】()学級 [うち特別支援学級()学級] ②【特別支援学校】()学級
回答作成者の名前	①校長 ②副校長・教頭 ③教務主任 ④体育主任 ⑤第2学年学級担任 ⑥その他 (記述)
※回答は、オンライン上で入力してください。	
1 令和5年度に、児童の体力・運動能力の向上のための学校全体の目標を設定していましたか。	
2 令和5年度に、児童の体力・運動能力の向上のための学年としての目標を、学校としての目標と別に設定していましたか。	
3 令和5年度に、体育授業以外で、全ての児童の体力・運動能力の向上に係る取組を行いましたか。	
3-2 (質問3で1または2を回答した学校) その取組はどのくらいの期間行いましたか。(複数回答可)	
3-3 (質問3で1または2を回答した学校) その取組をいつ行いましたか。(複数回答可)	
3-4 (質問3で1または2を回答した学校) どのような活動を行いましたか。(複数回答可)	
3-5 (質問3で1または2を回答した学校) その活動を行う上で、どのような取組をしましたか。(複数回答可)	
体育の授業について聞きます。	
6 体育の授業の冒頭で、その授業の目標(めあて・ねらい等)を児童に示す活動を取り入れていますか。	
7 体育の授業の最後に、その授業で学習振り返る活動を取り入れていますか。	
8 体育の授業では、児童同士で助け合ったり、役割を果たしたりする活動を取り入れていますか。	
9 体育の授業では、児童同士で話し合う活動を取り入れていますか。	
10 体育の授業におけるICTの活用について、どのくらいの頻度で活用していますか。	
1. 全教師が参加する 2. 該当学年の中担当教師が参加する 3. 一部担当教師が参加する	
1. 増えた 2. ほとんど変わらない 3. 減った	
1. よくしている 2. どちらかといえばしている 3. あまりしていない 4. 全くしていない	
1. 教師は児童の体力向上や体育の授業研究に関する取組に参加し、自校の体力・運動能力の向上に係る取組に反映していますか。	
5 令和5年度の全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果を踏まえた取組をしていましたか。	
5-2 問5で「している」「予定している」と回答した学校は、どのような取組をしましたか(取り組む予定ですか)。(複数回答可)	
1. 保健体育の授業改善に取り組んだ 2. 予定している 3. していない 4. 地域と連携して児童の体力向上に関する取組を行った。 5. 運動時間が少ない児童に対して体力向上に関する取組を行った。 6. その他 (自由記述)	
1. いつも取り入れている 2. だいたい取り入れている 3. あまり取り入れていない 4. 全く取り入れていない	
1. 全ての学年で取り入れている 2. 一部の学年で取り入れている 3. 取り入れていない	
1. 毎時間活用している 2. 過に1時間程度活用している 3. 月に1時間程度活用している 4. 年に数時間程度活用している 5. ICTを活用していない	

16	健康三原則（運動、食事、休養及び睡眠）の大切さを、児童に伝えていますか。	1. 様々な場面で計画的に伝えるようにしている 2. 機会をとらえて適宜伝えている 3. 伝えるかどうかは各担当や担任に任せている 4.特に伝えていない
17	体育の授業で教科担任制を導入していますか。	1. 導入している 2. 導入していない
17-2	（質問 17-1 を回答した学校）具体的な取組を選んでください。（複数回答可）	1. 常勤もしくは非常勤の体育専科教員の配置 2. 校内の教員による授業交換 3. 地域の複数の小学校との連携 4. 地域の中学校との連携 5.その他（自由記述）
17-3	（質問 17-1 を回答した学校）第何学年の体育の授業で実施していますか。（TTによる指導も含む）（複数回答可）	1. 第1学年 2. 第2学年 3. 第3学年 4. 第4学年 5. 第5学年 6. 第6学年 7. 特別支援学級
18	体育専科教員は配置されていますか。 ※所属する自治体の専科指導加配による配置に関する記述。	令和5年度 常勤（ ）人 非常勤（ ）人 令和6年度 常勤（ ）人 非常勤（ ）人
19	令和6年度の授業に、学校全体として学校外の人材を活用していますか。（予定も含む）	（ ）人
19-2	（質問 18 で活用している人数が 1 人以上と回答した学校）どの領域等で活用していますか。（予定も含む）（複数回答可）	1. 体つくり運動 2. 器械運動系 3. 陸上運動系 4. 水泳運動系 5. ボール運動系 6. 表現運動系 7. 保健
20	令和6年度に水泳運動（水遊び）の授業をどこで実施していますか。（予定を含む）	1. 自校のプールで実施する 2. 近隣の学校のプールで実施する 3. 近隣の公営プールで実施する 4. 民間のスイミングクラブ等で実施し、教員のみで指導する 5. 民間のスイミングクラブ等の指導協力を得る 6. その他（自由記述）
21	新体カテストを実施した学年を選んでください。（複数回答可）	1. 第1学年 2. 第2学年 3. 第3学年 4. 第4学年 5. 第5学年 6. 第6学年 6. その他（自由記述）
22	体育の授業では、体力や技能の程度、性別や障害の有無等にかかわらず、運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有することができますか。図っていませんか。	1. 図っている 2. やや図っている 3. あまり図っていない 4. 図っていない

10-2	（問 10 で、1～4 を回答した人） 体育の授業で ICT を活用している場合、どのように活用していますか。（複数回答可）	1. 児童の動きを撮影し、友達同士で確認をさせることで、課題登録に繋げるようになっています。 2. チームや試合の様子を撮影して、チームで作戦を立てる際の参考にしています。 3. 以前に撮影した児童の動きと比較して、変容を確認せざるようになっています。 4. 毎時間の児童のデータを記録して見える化することで、個人目標を立てさせなど技能の向上に役立てています。 5.その他（自由記述）
11	体育の授業で大切にしていることを上位から 3 つ選んでください。	1. 体を動かすことの楽しさを実感させること 2. 技や動きができるようになること 3. 仲間と一緒に協力して課題を解決させること 4. 苦手意識を持たせないことで 5. 運動量を確保すること 6. 体育で学習したことを実生活で生かせるようにすること 7. 動きのポイントなどの知識を理解させること 8. 自ら工夫して練習やゲームが出来るようにすること 9. 技能の程度や、障害の有無等にかかわらず、共に学習させること 10. 運動領域と保健領域の関連を図ること 11.その他（自由記述）
12	児童はどうなどぎに体育の授業が楽しいと感じていると思われますか。それそれに「思う」、「やと思う」、「あまり思わない」、「思わない」で答えてください。	1. 体を動かしてすっきりした気分になつたとき 2. いろんな種目を体験したとき 3. できなかつたことができるようになつたとき 4. 記録に挑戦したり、記録があつたり、競い合つたりしたとき 5. 友達と交流したり、協力できたとき
13	体育の授業で運動やスポーツが苦手（嫌い）な傾向がある児童への指導の充実のためにどのような取組をしていますか。（複数回答可）	1. 研究授業、授業研究を行っている 2. 校内研修を行っている 3. 教育委員会が開催する研修会に参加している 4. 書籍やインターネットにより情報を得ている 5. 地域の運動・スポーツ指導者と連携している 6. 家庭と連携している 7.特にしない 8.その他（自由記述）
14	体育における観点別学習状況の評価の実施に際して、特に課題と感じることはどのようなことですか。	1. 知識・技能の評価 2. 思考・判断・表現の評価 3. 主題的に学習に取り組む態度 4.特にない 5.その他（自由記述）
15	運動やスポーツ、児童の体力について、家庭とのよくな連携をしていますか。（複数回答可）	1. 児童と家の人と一緒に運動やスポーツをする機会を設けている 2.家庭に対して、児童が運動やスポーツを実施することを啓発するための資料を配布している 3.家庭に対しても、児童の生活習慣（スクリーンタイムも含む）改善のための運動やスポーツに伊ムの人や児童に対して地域の運動やスポーツに関する行事に参加するよう足している 4.家の人に児童に対して地元の運動やスポーツに連携はしていない 7.その他（自由記述）

小学生 記録シート

小学校

自分のからだと向き合おう!
自分の結果を未来に生かそう!

調査結果を記入しよう。

ステップ1 新体力テストの結果を記録しよう!

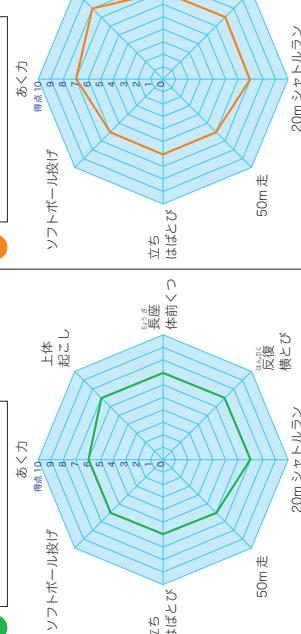
記録表に記入しよう。

こう目	記録			得点	目標値	男子	女子	全国平均
	右	1回目	kg		kg			
① あく力	※小数点以下は切り捨て	左	1回目	kg	2回目	kg		
② 上体起こし	※小数点以下は切り捨て	右	1回目	cm	2回目	cm		
③ 長座体前くつ	※小数点以下は切り捨て	左	1回目	cm	2回目	cm		
④ 反復横とび	※小数点以下は切り捨て	右	1回目	点	2回目	点		
⑤ 20mシャトルラン	※切り上げて	左	1回目	秒	2回目	秒		
⑥ 50m走	※切り上げて	右	1回目	cm	2回目	cm		
⑦ 立ちはばとび	※小数点以下は切り捨て	左	1回目	m	2回目	m		
⑧ ソフトボール投げ	※小数点以下は切り捨て	右	1回目	m	2回目	m		
合計得点 (体力合計点)								
※合計得点		A	B	C	D	E		
65歳以上		64~58	57~50	49~42	41以下			
53点 54点								

あとで読むときは、一つ上にがんばれ! あとで読まないときは、一つ下にがんばれ! あとで読むときは、50m走の結果五つ星。今度年齢の直立・柔軟性の小学生がいるときも結果です。

得点グラフをつくろう。

●自分の得点を記入して、八角形のグラフを完成しよう。これから、この面積をどんどん大きく広げよう!



ステップ2 日常的に運動やスポーツに取り組もう!

- ① 1ページの得点グラフを見て、自分の得点が全国平均と同じか上回っているこう目をチェックしよう。
- 全国平均と同じか上回っているこう目をぬりつぶそう。

体力・運動能力をもつとのばそーう!

私達が明るく豊かな生活を送るためにには、健康や体力の維持、向上が欠かせません。そのためには、動くときはしっかり動く、休むときはしっかりと休む、食べるべきはしっかり食べる、これを毎日規則正しい繰り返して「生活リズムを整えること」、さらに「適度な運動を定期的に行なうこと」が大切です。

体力・運動能力は子供の時期に大きくのび、大人から高齢になると時期には低下していきます。子供の時期に、運動習慣や良い生活習慣を身に付けて、体力・運動能力を高めることができます。左の図をよく見て、体力の要素を確認し、自分の体力を高めることにどんどんチャレンジしましょう!

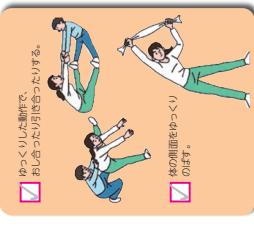
体力・運動能力は子供の時期に大きくのび、大人から高齢になると時期には低下していきます。子供の時期に、運動習慣や良い生活習慣を身に付けて、体力・運動能力を高めることができます。左の図をよく見て、体力の要素を確認し、自分の体力を高めることにどんどんチャレンジしましょう!



- ② 今回の記録から分かったことや、高めたいた体力の要素を書いてみよう。
- 体力の要素
○体のやわらかさ ●柔軟性
○タミングの良さ ●反応性
○力強さ ●筋力
○動きを継続する能力



- ③ いろいろな「本の動きを高める運動」をやってみよう。
- チャレンジしたら、□にチェックを入れよう。



ステップ3 生活習慣を振り返ってみよう!

① 生活習慣の基本を理解しよう。

毎日の朝食やすいみん時間、画面を見る時間と体力合計点があるか?

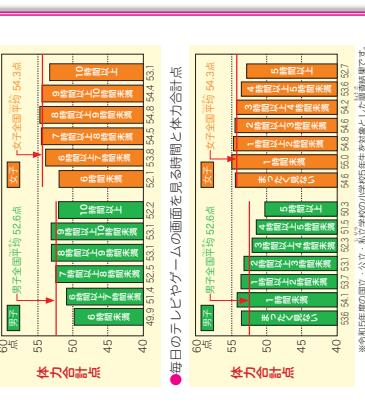
- 毎日朝食を食べることと体力合計点
- 運動の習慣化

年齢	女子	男子
6歳	52.6点	53.4点
10歳	54.3点	54.5点
14歳	54.5点	54.6点
17歳	54.6点	54.7点
20歳	54.7点	54.8点
24歳	54.8点	54.9点
28歳	54.9点	55.0点
32歳	55.0点	55.1点
36歳	55.1点	55.2点
40歳	55.2点	55.3点
44歳	55.3点	55.4点
48歳	55.4点	55.5点
52歳	55.5点	55.6点
56歳	55.6点	55.7点
60歳	55.7点	55.8点

毎日のすいみん時間と体力合計点

年齢	女子	男子
6歳	52.6点	53.4点
10歳	54.3点	54.5点
14歳	54.5点	54.6点
17歳	54.6点	54.7点
20歳	54.7点	54.8点
24歳	54.8点	54.9点
28歳	54.9点	55.0点
32歳	55.0点	55.1点
36歳	55.1点	55.2点
40歳	55.2点	55.3点
44歳	55.3点	55.4点
48歳	55.4点	55.5点
52歳	55.5点	55.6点
56歳	55.6点	55.7点
60歳	55.7点	55.8点

朝食の摂取、栄養バランス 早ね、早起き



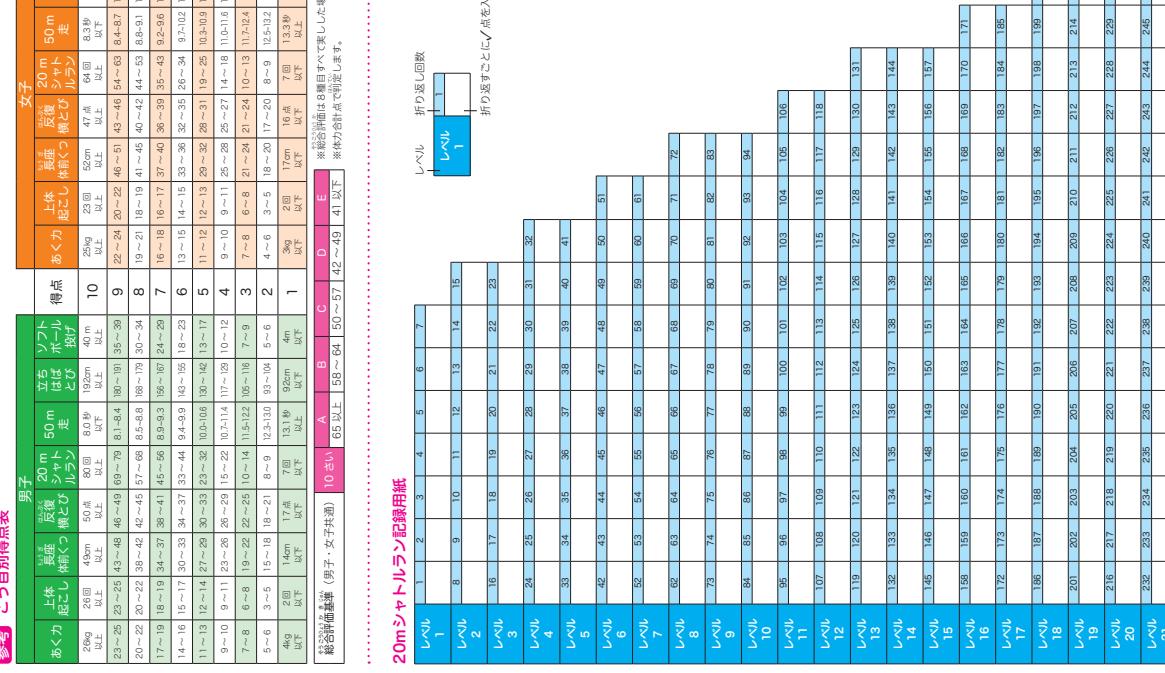
生活習慣の基本は、「運動」「食事」「休養」および「すいみん」であり、この三つのバランスが重要です。
「運動」を習慣化するには、「運動の楽しさや喜びを感じること」が大切です。楽しめることによって「運動が好き」になります。
また、「食事」「休養」および「すいみん」を通して、「健康的正しい生活を送ること」ができます。
この三つのバランスのとれた規則正しい生活が、「心と体の健康」の基本です。



② 自分の生活習慣を見つめ直して、目標をたててみよう。

● 平日（月～金曜日）と休日（土・曜日）からそれぞれ1日を取り上げ、「生活と運動」の記録簿を書こう。

この日	記入の仕方	平日		休日		休日の目標	
		時間	分	時間	分	時間	分
開始時間							
起床							
運動							
放置後							
運動時間の合計							
食事							
寝食							
起きた瞬間							
すいみん							
寝る時間							



全国 生徒調査票 (第2学年)

中学校

実技に関する調査

2 回テストをする題目については、以下の記述を記入してください。

※性別欄の番号は、未記入の箇所には回記入しないこと。

▲性別欄の番号を「り忘れがないこと」。

未記入の箇所には回記入しないこと。

保健体育の授業について聞きます。

学校名												
性別	① 男 ② 女											
No.	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>											
保健体育の授業は楽しいですか。	① 楽しい ② やや楽しい ③ どちら ④ やや苦しい ⑤ 苦しい											
保健体育の授業は楽しいですか。	① 楽しい ② やや楽しい ③ どちら ④ やや苦しい ⑤ 苦しい											
⑨ 保健体育の授業は楽しいですか。	① 楽しい ② やや楽しい ③ どちら ④ やや苦しい ⑤ 苦しい											
⑩ どんなときに保健体育の授業が楽しいと感じますか。 それそれに楽しいいや樂しい、「あまり楽しい」と感じないで答えてください。												
⑪ 保健体育の授業では、進んで学習に参加しています。 ② 進んで学習することはない	① いつも進んで学習している ② だいたい進んで学習している ③ あまり進んで学習していない ④ 進んで学習することはない											
⑫ いつもある ③ あまりない												
⑬ いつもある ③ あまりない												
⑭ いつもある ③ あまりない ⑤ ICTを活用していない												
⑮ いつもある ③ あまりない												
⑯ いつもある ③ 自己を立てている												
⑰ いつもある ③ やや思つ ④ 思わない												
⑱ いつもようになった ③ もっと運動しようと思いましたか。 ④ 運動がなかった												
学校名												
性別	① 男 ② 女											
No.	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>											
保健体育の授業は楽しいですか。	① 楽しい ② やや楽しい ③ どちら ④ やや苦しい ⑤ 苦しい											
保健体育の授業は楽しいですか。	① 楽しい ② やや楽しい ③ どちら ④ やや苦しい ⑤ 苦しい											
⑨ 保健体育の授業は楽しいですか。	① 楽しい ② やや楽しい ③ どちら ④ やや苦しい ⑤ 苦しい											
⑩ どんなときに保健体育の授業が楽しいと感じますか。 それそれに楽しいいや樂しい、「あまり楽しい」と感じないで答えてください。												
⑪ 保健体育の授業では、進んで学習に参加しています。 ② 進んで学習することはない	① いつも進んで学習している ② だいたい進んで学習している ③ あまり進んで学習していない ④ 進んで学習することはない											
⑫ いつもある ③ あまりない												
⑬ いつもある ③ あまりない												
⑭ いつもある ③ あまりない ⑤ ICTを活用していない												
⑮ いつもある ③ あまりない												
⑯ いつもある ③ 自己を立てている												
⑰ いつもある ③ やや思つ ④ 思わない												
⑱ いつもようになった ③ もっと運動しようと思いましたか。 ④ 運動がなかった												

※この調査の結果は、誰が回答したか知らないようにして、行政機関や研究機関などの研究者が研究や検討をするために活用する場合があります。

⑦ 每日どのくらい寝ていますか。	① 10時間以上 ② 8時間以上～10時間未満 ③ 8時間未満	④ 6時間未満
⑧ 平日(月～金曜日)について聞きます。学習などで、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。	① 5時間以上 ② 4時間以上～3時間未満 ③ 3時間以上～2時間未満 ④ 2時間以上～1時間未満 ⑤ 1時間未満	⑥ 6時間未満
⑨ 朝食は毎日食べますか。(学校が休みの日も含めます) ③ 食べない日が多い	① 每日食べる ② 週に1回～2回食べる ③ 週に3回～4回食べる ④ 週に5回～6回食べる ⑤ 週に7回～8回食べる ⑥ 週に9回～10回食べる	⑦ 全く見えない

0004 ■

裏面に続ります。

**全国
令和6年度
学校質問紙調査票**

質問紙

3-5	(質問3で1または2を回答した学校) その活動を行った上で、どのような取組をしましたか。 (複数回答可)		1. 縦割り（異学年）での交流を行った 2. 生徒による自主的な準備・計画を取り入れた 3. 学級対抗などの対戦形式を取り入れた 4. 数値目標を設定した 5. 記録カードなどを活用し自己の成果を記録した 6. 生徒が行える運動遊びの種類を多く設定した 7. その他（自由記述）
3-6	(質問3で1または2を回答した学校) その取組には、教師はどのように関わっていますか。		1. 全教師が参加する 2. 該当学年の担当教師が参加する 3. 一部担当教師が参加する
3-7	(質問3で1または2を回答した学校) その取組時間は、前年度と比べて変わっていますか。		1. 増えた 2. ほとんど変わらない 3. 減った
4	教師は生徒の体力向上や保健体育の授業研究に関する校内外の研修や研究会に参加し、自校の体力・運動能力の向上に係る取組に反映していますか。		1. よくしている 2. どちらかといえばしている 3. あまりしていない 4. 全くしていない
5	令和5年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた取組をしていますか。		1. している 2. 予定している 3. していない
5-2	(質問5で「している」「予定している」と回答した学校は、どのような取組をしましたか（取り組む予定ですか）。(複数回答可)		1. 保健体育の授業改善に取り組んだ 2. 保健体育の授業以外で、生徒の体力向上に関する取組を行った。 3. 家庭・保護者に対して生徒の体力向上に関する働きかけを行った。 4. 地域と連携してせいとの体力向上に関する取組を行った。 5. 運動時間が少ない生徒に対して体力向上に関する取組を行った。 6. その他（自由記述）
保健体育の授業について聞きます。			
6	保健体育の授業の冒頭で、その授業の目標（めあて・ねらい等）を生徒に示す活動を取り入れていますか。		1. いつも取り入れている 2. だいたい取り入れている 3. あまり取り入れていない 4. 全く取り入れていない
7	保健体育の授業の最後に、その授業で学習したことを振り返る活動を取り入れていますか。		1. いつも取り入れている 2. だいたい取り入れている 3. あまり取り入れていない 4. 全く取り入れていない
8	保健体育の授業では、生徒同士で助け合ったり、役割を果たしたりする活動を取り入れていますか。		1. いつも取り入れている 2. だいたい取り入れている 3. あまり取り入れていない 4. 全く取り入れていない
9	保健体育の授業では、生徒同士で話し合う活動を取り入れていますか。		1. 全ての学年で取り入れている 2. 一部の学年で取り入れている 3. 取り入れていない

*回答は、オンライン上で入力してください。

1 令和5年度に、生徒の体力・運動能力の向上たための学校全体の目標を設定していましたか。
2 令和5年度に、生徒の体力・運動能力の向上たための学年としての目標を、学校としての目標と別に設定していましたか。
3 令和5年度に、体育授業以外で、全ての生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行いましたか。
3-2 (質問3で1または2を回答した学校) その取組はどうらいの期間行いましたか。

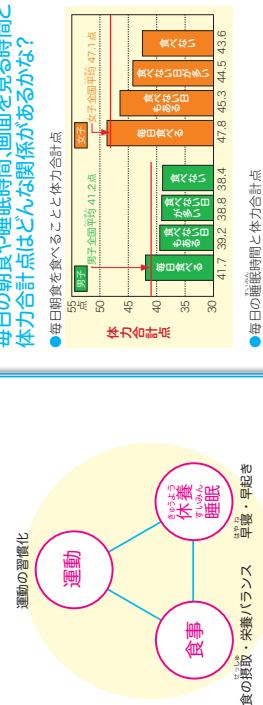
1. 年間を通して行った
2. 半年程度行った
3. 3か月程度行った
4. 1か月程度行った
- 3-3 (質問3で1または2を回答した学校)
その取組をいつ行いましたか。(複数回答可)
1. 始業前
2. 中休み
3. 普通休
4. 放課後
5. その他（自由記述）
- 3-4 (質問3で1または2を回答した学校)
どのような活動を行いましたか。(複数回答可)
1. なわとび
2. ランニング
3. 体操
4. ボール運動
5. 複合した活動
6. 運動遊び
7. 特定していない
8. その他（自由記述）

10 保健体育の授業におけるICTの活用について、どのくらいの頻度で活用していますか。	<p>1. 每時間活用している 2. 週に1時間程度活用している 3. 月に1時間程度活用している 4. 年に数時間程度活用している 5. ICTを活用していない</p>
10-2 (質問10で1～4を回答した学校) 保健体育の授業でICTを活用している場合、どのように活用していますか。(複数回答可)	<p>1. 生徒の動きを撮影し、友達同士で確認をさせる ことで、課題達成に繋げるようになっている 2. チームや試合の様子を撮影して、チームで作戦を立てる際の参考にするようにしている 3. 以前に撮影した生徒の動きと比較して、姿勢を確認できるようにしている 4. 毎時間の生徒のデータを記録して見える化することで、個人の目標を立てるなど技能の向上に役立てている 5. 教師の業務改善に活用している 6. その他(自由記述)</p>
11 保健体育の授業で大切にしていることを上位から3つ選んでください。	<p>1. 体を動かすことの楽しさを実感させること 2. 技や動きができるようにさせること 3. 仲間と協力して課題を解決させること 4. 苦手意識を持たせないこと 5. 運動量を確保すること 6. 体育で学習したことを実生活で生かせるようにすること 7. 知識のポイントなどの知識を理解させること 8. 自ら工夫して練習やゲームが出来るようにすること 9. 技能の程度や、障害の有無等にかかわらず、共に学習させること 10. 運動領域と保健領域の関連を図ること 11. その他(自由記述)</p>
12 生徒はどうなどきに保健体育の授業が楽しいと感じていると思いますか。それぞれに思う「いやと思う、「あまり思わない」、「思わない」で答えください。	<p>1. 体を動かしてすっきりした気分になつたとき 2. いろんな種目を体験したとき 3. できなかつたことができるようになつたとき 4. 記録があがつたり、競い合つたりしたとき 5. 友達と交流したり、協力できたとき</p>
13 保健体育の授業で運動やスポーツが苦手(嫌い)な傾向がある生徒への指導の充実のためにどのような取組をしていますか。(複数回答可)	<p>1. 研究授業、授業研究を行っている 2. 校内研修を行っている 3. 教育委員会が開催する研修会に参加している 4. 書籍やインターネットにより情報を得ている 5. 地域の運動・スポーツ指導者と連携している 6. 家庭と連携している 7. 特にしていない 8. その他(自由記述)</p>
14 保健体育における観点別学習状況の評価の実施に際して、特に課題を感じていることはどのようなことですか。	<p>1. 知識・技能の評価 2. 思考・判断・表現の評価 3. 主体的に学習に取り組む態度 4. 特にない 5. その他(自由記述)</p>
15 運動やスポーツ、生徒の体力について、家庭とどうな連携をしていますか。(複数回答可)	<p>1. 生徒と家の人が一緒に運動やスポーツをする機会を設けている 2. 家庭に対して、生徒が運動やスポーツを実施することを啓発するための資料を配布している 3. 家庭に対して、生徒の生活習慣(スクリーンタイムも含む)改善のための資料を配布している 4. 家の人や生徒に対して地域の運動やスポーツに関する行事に参加するよう促している 5. 体力に関する調査の結果を家庭に連絡している 6. 特に連携はしていない 7. その他(自由記述)</p>
16 健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さを、生徒に伝えていますか。	<p>1. 様々な場面で計画的に伝えるようにしている 2. 機会をとらえて適宜伝えている 3. 伝えるかどうかは各担当や担任に任せている 4. 特に伝えていない</p>
17 令和6年度の保健体育の授業に、学校全体として学校外の人材を何人活用していますか。(予定も含む)	<p>()人</p>
17-2 (質問17で活用している人数が1人以上と回答した学校) どの領域等で活用していますか。(予定も含む)(複数回答可)	<p>1. 体づくり運動 2. 器械運動 3. 陸上競技 4. 水泳 5. 球技 6. 武道 7. ダンス 8. 体育理論 9. 保健</p>
18 令和6年度に水泳の授業をどこで実施していますか。(予定を含む)	<p>1. 自然のプールで実施する 2. 近隣の学校のプールで実施する 3. 近隣の公営プールで実施する 4. 民間のスイミングクラブ等で実施し、教員のみで指導する。 5. 民間のスイミングクラブ等で実施し、インストラクター等の指導協力を得る。 6. その他(自由記述)</p>
19 新体カテストを実施した学年を選んでください。(複数回答可)	<p>1. 第1学年 2. 第2学年 3. 第3学年</p>
20 保健体育の授業で男女共習を行っていますか。	<p>1. 全ての活動で行っている 2. 7割程度の活動で行っている 3. 約半分程度の活動で行っている 4. 3割程度の活動で行っている 5. 全く行っていない</p>
21 保健体育の授業では、体力や技能の程度、性別や障害の有無等にかかわらず、運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有することができるように共生の視点を踏まえて指導内容の充実を図っていますか。	<p>1. 図つている 2. やや図つている 3. あまり図っていない 4. 図っていない</p>

ステップ3 生活習慣を振り返ってみよう！

① 生活習慣の基本を理解しよう。

すいみん　の　呑咽　吐息　画面を　見て吐息



生活習慣の基本は、「運動」「食事」「休養及び睡眠」であり、この三つのバランスが重要です。

「運動」を習慣化するには、「運動の楽しさや遊びを感じること」が大切です。楽しさを味わうことによって「運動が好き」になります。また、「食事」「休養及び睡眠」を適切にとることで、規則正しい生活を送ることができます。

この三つのバランスのとれた規則正しい生活が、「心と体の健康」の基本です。

②自分の生活習慣を見つめて、目標をたててみよう。

卷之三

卷之三

בגלאס 12

$\text{V}_{\text{NRL}} = \frac{1}{2} \left(\text{V}_1 + \text{V}_2 \right)$

λ_3 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142

卷之三

15
...
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168

91
வினாக்கள்

卷之三

レバーリー 18

レバーリング

卷之三

20 レベル 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242

ANSWER

こうもく

こうもく

紙用記録トナリシヨウ

折り返しごとに矢印を入れる。							
折り返し回数							
レベル	1	2	3	4	5	6	7
レベル1	8	9	10	11	12	13	14
レベル2	16	17	18	19	20	21	22
レベル3	24	25	26	27	28	29	30
レベル4	33	34	35	36	37	38	39
レベル5	42	43	44	45	46	47	48
レベル6	52	53	54	55	56	57	58
レベル7	62	63	64	65	66	67	68
レベル8	73	74	75	76	77	78	79
レベル9	84	85	86	87	88	89	90
レベル10	95	96	97	98	99	100	101
レベル11	107	108	109	110	111	112	113
レベル12	119	120	121	122	123	124	125
レベル13	132	133	134	135	136	137	138
レベル14	146	147	148	149	150	151	152
レベル15	158	159	160	161	162	163	164
レベル16	172	173	174	175	176	177	178
レベル17	183	187	188	189	190	191	192
レベル18	201	202	203	204	205	206	207
レベル19	216	217	218	219	220	221	222
レベル20	232	233	234	235	236	237	238

この調査の結果は、誰が回答したかわからないようにしましたので、行政機関や研究機関などの研究者が研究や検討をするために活用する場合があります。

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 教育委員会質問紙調査票

委員会概要（学校数・指導主事数）	
所管の学校数	[小学校] () 校 [中学校] () 校 [義務教育学校] () 校
体育・保健体育専任の指導・主事の人数	() 人

※回答は、オンライン上で入力してください。

1	貴教育委員会では、令和5年度に、児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行いましたか。	1. 行った 2. 行わなかった
1-2	(質問1で1を回答した場合) 行った取組の具体的な内容を選んでください。(複数回答可)	1. 児童生徒の体力・運動能力の向上に係る計画の策定 2. 児童生徒の体力・運動能力の向上に係る各学校に対する策定の義務付け 3. 児童生徒の体力・運動能力の向上に係る検討委員会の設置 4. 体育科・保健体育科の各領域についての研修の充実 5. 授業外の運動機会を充実させるための取組 6. 児童生徒が生活習慣を改善するきっかけを作る取組 7. 児童生徒の運動に関する講演会 8. 児童生徒の生活習慣の改善に関する講演会 9. 地域の団体との連携した取組 10. 小学校における体育専科教員の配置の拡大 11. 中学校における保健体育の授業での外部人材の活用の拡大 12. 有名選手を活用した運動・スポーツ教室等の実施 13. 児童生徒の遊び場所の確保(公園・校庭等の開放) 14. その他 (自由記述)
2	貴教育委員会では、令和5年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を受けた取組を行いましたか。	1. 行った 2. 行わなかった
2-2	(質問2で1を回答した場合) 行った取組の具体的な内容を選んでください。(複数回答可)	1. 調査結果について、域内の市町村教育委員会又は所管の学校に説明 2. 調査結果について、独自の分析 3. 調査結果において課題と思われる点について対応する施策を、令和6年度予算に計上 4. その他 (自由記述)
2-3	(質問2で2を回答した場合) 行わなかつた理由を選んでください。(複数回答可)	1. 児童生徒の体力・運動能力の向上に関して、意識が低いから 2. 保健体育専門の指導主事がいないから 3. 人手が足りないから 4. 他の業務が忙しすぎて、時間がないから 5. その他 (自由記述)

裏面に続きます。↑

3	貴教育委員会では、体育・保健体育の授業改善のための取組を実施していますか。	1. 実施している 2. 実施していない
3-2	(質問3で1を回答した場合) それはどのような取組ですか。(複数回答可)	1. 授業研究会の実施 2. 教員研修の実施 3. 指導資料の作成や既存資料の活用促進 4. 外部指導者の派遣、活用 5. 小学校における体育専科教員の配置 6. その他 (自由記述)
4	貴教育委員会では、小学校における体育専科教員(専科指導加配)に対し、指導力向上や教員の質の保障等のために、どのような取組を行っていますか。(行う予定ですか)(複数回答可)	1. 授業研究会の実施 2. 体育専科教員を集めた協議会等による研修の実施 3. その他 (自由記述)
5	貴教育委員会(または首都道府県・貴市)において幼児の運動促進のための取組を実施していますか。(実施する予定ですか)	1. 実施している 2. 実施する予定である 3. 実施していない
5-2	(質問5で1または2を回答した場合) どのような取組を行っていますか。(行う予定ですか)(複数回答可)	1. 幼児期運動指針の普及 2. 教育委員会での幼児の運動促進に係る取組事例の情報収集、指導法の研究・普及 3. 幼稚園、保育所への訪問、研修会開催による取組促進 4. 幼稚園、保育所団体、関係者への呼びかけ 5. 保護者への呼びかけ 6. 幼児の遊び場の確保、整備 7. その他 (自由記述)
6	本調査は、児童生徒の体力・運動能力、運動習慣の状況等について詳細に把握・分析し、施策の検証、改善を図るために継続的なPDCAサイクルの確立を目指し実施してきました。本事業がより効果的に子供の運動・体育活動の充実に資するため、今後も6年度以降の本調査の改善を図る場合、貴教育委員会や所管する学校において、本調査の課題や問題点等についてどのように捉え、どのような点を改善すべきとお考えですか。(※可能な範囲で結構ですので、各校の体育主任等の意見も踏まえ回答して下さい。)	自由記述

● 項目別得点表

小学校

● 男子

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ
10	26kg以上	26回以上	49cm以上	50点以上	80回以上	8.0秒以下	192cm以上	40m以上
9	23~25	23~25	43~48	46~49	69~79	8.1~8.4	180~191	35~39
8	20~22	20~22	38~42	42~45	57~68	8.5~8.8	168~179	30~34
7	17~19	18~19	34~37	38~41	45~56	8.9~9.3	156~167	24~29
6	14~16	15~17	30~33	34~37	33~44	9.4~9.9	143~155	18~23
5	11~13	12~14	27~29	30~33	23~32	10.0~10.6	130~142	13~17
4	9~10	9~11	23~26	26~29	15~22	10.7~11.4	117~129	10~12
3	7~8	6~8	19~22	22~25	10~14	11.5~12.2	105~116	7~9
2	5~6	3~5	15~18	18~21	8~9	12.3~13.0	93~104	5~6
1	4kg以下	2回以下	14cm以下	17点以下	7回以下	13.1秒以上	92cm以下	4m以下

● 女子

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ
10	25kg以上	23回以上	52cm以上	47点以上	64回以上	8.3秒以下	181cm以上	25m以上
9	22~24	20~22	46~51	43~46	54~63	8.4~8.7	170~180	21~24
8	19~21	18~19	41~45	40~42	44~53	8.8~9.1	160~169	17~20
7	16~18	16~17	37~40	36~39	35~43	9.2~9.6	147~159	14~16
6	13~15	14~15	33~36	32~35	26~34	9.7~10.2	134~146	11~13
5	11~12	12~13	29~32	28~31	19~25	10.3~10.9	121~133	8~10
4	9~10	9~11	25~28	25~27	14~18	11.0~11.6	109~120	6~7
3	7~8	6~8	21~24	21~24	10~13	11.7~12.4	98~108	5
2	4~6	3~5	18~20	17~20	8~9	12.5~13.2	85~97	4
1	3kg以下	2回以下	17cm以下	16点以下	7回以下	13.3秒以上	84cm以下	3m以下

● 総合評価基準表

小学校

● 男女共通

段階	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳
A	39以上	47以上	53以上	59以上	65以上	71以上
B	33~38	41~46	46~52	52~58	58~64	63~70
C	27~32	34~40	39~45	45~51	50~57	55~62
D	22~26	27~33	32~38	38~44	42~49	46~54
E	21以下	26以下	31以下	37以下	41以下	45以下

※総合評価は8種目全て実施した場合に合計得点で判定する。

● 項目別得点表

中学校

● 男子

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ
10	56kg以上	35回以上	64cm以上	63点以上	4'59"以下	125回以上	6.6秒以下	265cm以上	37m以上
9	51~55	33~34	58~63	60~62	5'00"~5'16"	113~124	6.7~6.8	254~264	34~36
8	47~50	30~32	53~57	56~59	5'17"~5'33"	102~112	6.9~7.0	242~253	31~33
7	43~46	27~29	49~52	53~55	5'34"~5'55"	90~101	7.1~7.2	230~241	28~30
6	38~42	25~26	44~48	49~52	5'56"~6'22"	76~89	7.3~7.5	218~229	25~27
5	33~37	22~24	39~43	45~48	6'23"~6'50"	63~75	7.6~7.9	203~217	22~24
4	28~32	19~21	33~38	41~44	6'51"~7'30"	51~62	8.0~8.4	188~202	19~21
3	23~27	16~18	28~32	37~40	7'31"~8'19"	37~50	8.5~9.0	170~187	16~18
2	18~22	13~15	21~27	30~36	8'20"~9'20"	26~36	9.1~9.7	150~169	13~15
1	17kg以下	12回以下	20cm以下	29点以下	9'21"以上	25回以下	9.8秒以上	149cm以下	12m以下

● 女子

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ
10	36kg以上	29回以上	63cm以上	53点以上	3'49"以下	88回以上	7.7秒以下	210cm以上	23m以上
9	33~35	26~28	58~62	50~52	3'50"~4'02"	76~87	7.8~8.0	200~209	20~22
8	30~32	23~25	54~57	48~49	4'03"~4'19"	64~75	8.1~8.3	190~199	18~19
7	28~29	20~22	50~53	45~47	4'20"~4'37"	54~63	8.4~8.6	179~189	16~17
6	25~27	18~19	45~49	42~44	4'38"~4'56"	44~53	8.7~8.9	168~178	14~15
5	23~24	15~17	40~44	39~41	4'57"~5'18"	35~43	9.0~9.3	157~167	12~13
4	20~22	13~14	35~39	36~38	5'19"~5'42"	27~34	9.4~9.8	145~156	11
3	17~19	11~12	30~34	32~35	5'43"~6'14"	21~26	9.9~10.3	132~144	10
2	14~16	8~10	23~29	27~31	6'15"~6'57"	15~20	10.4~11.2	118~131	8~9
1	13kg以下	7回以下	22cm以下	26点以下	6'58"以上	14回以下	11.3秒以上	117cm以下	7m以下

● 総合評価基準表

中学校

● 男女共通

段階	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳
A	51以上	57以上	60以上	61以上	63以上	65以上	65以上	65以上
B	41~50	47~56	51~59	52~60	53~62	54~64	54~64	54~64
C	32~40	37~46	41~50	41~51	42~52	43~53	43~53	43~53
D	22~31	27~36	31~40	31~40	31~41	31~42	31~42	31~42
E	21以下	26以下	30以下	30以下	30以下	30以下	30以下	30以下

※総合評価は8種目全て実施した場合に合計得点で判定する（持久走と20mシャトルランは選択）。

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 有識者委員会 委員名簿

(委員は50音順 敬称略)

〈有識者委員会〉

(委員長)

中野 貴博 中京大学スポーツ科学部教授

(委 員)

上地 勝 茨城大学教育学部教授

柏原 聖子 狛江市教育委員会教育長

春日 晃章 岐阜大学教育学部教授

鈴木 宏哉 順天堂大学スポーツ健康科学部准教授

田嶋 建文 栃木県那須塩原市立西那須野中学校校長

中田 由夫 筑波大学体育系教授

橋 憲市 群馬県教育委員会事務局健康体育課課長

細越 淳二 国士館大学文学部教授

宮本 幸子 笹川スポーツ財団政策ディレクター

森丘 保典 日本大学スポーツ科学部教授

山下 靖雄 江戸川区立船堀小学校校長

※なお、スポーツ庁においては、次の者が作成に携わった。

赤間 圭祐 スポーツ庁政策課企画調整室室長

橋本 元樹 スポーツ庁政策課企画調整室室長補佐

塩見 英樹 スポーツ庁政策課企画調整室教科調査官

綱島 毅 スポーツ庁政策課企画調整室教科調査官

岩田 悟 スポーツ庁政策課企画調整室教科調査官

瀬野 雄大 スポーツ庁政策課企画調整室調査係

弘田 新 スポーツ庁政策課企画調整室

